

ひたち海浜公園第27回 スクリーンコンサート 2023.10月

今月のテーマ 和楽器の響き

和楽の演奏を聴く機会が少なくなっていますが、海外では新鮮な楽器や音楽だとして受け止められています。

しかし、和楽器は歴史が古いが、現在の日本では衰退の危機にあります。

よく知られる和楽器を挙げると、

○弾物（ひきもの） 箏、三味線、胡弓、琵琶などの弦楽器。

○吹物（ふきもの） 尺八、篠笛、箎（ひちりき）、笙（しょう）などの管楽器。

○打ち物（うちもの）、太鼓、小鼓（こつづみ）などの打楽器



西洋の長音階（ドレミファソラシ）や短音階（ラシドレミファソ#）といった7つの音から成る音階が基本ですが、日本の民謡や伝統音楽では、5つの音から成る音階が基本となっていてできているものが圧倒的に多く、いずれもレを中心の音とする民謡音階など（レミソラド）です。

曲 目

○雅楽の楽器と解説&越天楽演奏

- 1、津軽三味線：「津軽ジョンガラ」：高橋竹山 5:00
- 2、箏曲：「さくら」 箏独奏による主題と六つの変奏 6:32
- 3、尺八：「鶴の巣ごもり」タンチョウ 10:30
- 4、篠笛：「里の秋」 3:00
- 5、和太鼓：「道」鼓童 4:33

【三味線・篠笛・笙・尺八・箏・太鼓・鳴り物などのアンサンブル】

- 6、箏&尺八：「ソーランスケルツォ」 6:06
- 7、和楽器リモートアンサンブル：「春よ、来い」 5:40
- 8、和楽器アンサンブル：「春の海」 8:21
- 9、和楽器アンサンブル：「海的路」 8:00
- 10、和楽器アンサンブル：「剣の舞」ハチャトリアン 2:25
- 11、和楽器アンサンブル：「ポレロ」 6:09

雅楽の基本的な構成は16人

《吹物（ふきもの）》と言われる管楽器3種類

- 笙（しょう） 3人
- 竜笛（りゅうてき） 3人
- 箏（ひちりき） 3人

《弾物（ひきもの）》と言われる弦楽器が2種類

- 楽琵琶（がくびわ） 2人
- 楽箏（がくそう） 2人

《打物（うちもの）》と言われる打楽器が3種類

- 鞆鼓（かっこ） 1人
- 太鼓（たいこ） 1人
- 鉦鼓（しょうこ） 1人